

JPPMA

Japan Pet Products Manufacturers Association

Briefs

柳原伸明 新会長 就任挨拶

7月の役員改選で当一般社団法人日本ペット用品工業会会長に就任させて頂きました。会長職を受けるにあたり、今回選任された役員各位から「協力を惜しまない」というお言葉を頂き、微力ではありますが、会長という重責の職務をお受けして、当会及び業界の振興・発展に尽くそうと心に決めた次第であります。

私は、業界の繁栄があってこそ企業各社も繁栄の道が広がるというのを理念にしており、任期2年間をそのための有意義な期間にしたいと思います。

東日本大震災は、3月11日の発生から7か月以上が経過致しました。いくらか復旧、復興に向けて前進しているようですが、まだ被災地の住民の方々においては不自由な生活が強いられています。また被災ペットの救援活動も行政、愛護団体、業界団体の取り組みによって活発に行われておりますが、保護・管理という継続的な活動はまだまだ今後の課題として残っている状況のようです。

ところで、マスコミ報道や被災者救援活動を見たり聞いたりする中で、ペットとのふれあいが、人の心を癒せることを改めて認識することができました。色々な局面で一般の人たちもペットの存在の重要性を認識する機会は多々あるのではないかと思います。当工業会としましては、2012年3月29日～4月1日に実施するジャパンペットフェアにおいて、被災者の皆さんの一助となるよう、またペットが人にとってかけがえのない存在であるという事を訴えていこうと考えております。

当工業会の事業はジャパンペットフェアのほか、安心安全なペット用品を普及させる為のペット用品統一表示制度の推進及び同第3ステージとして「品質基準」策定の準備を進める計



【経歴】

1956年11月14日山口県生まれ。
1988年9月1日株式会社ケーピーエス(大阪府守口市。業務内容:ペット用品輸入販売、コンサルティング他)設立。代表取締役社長に就任。
2004年9月1日代表取締役会長就任。

【JPPMA 経歴】

1991年ジャパンペットフェア実行委員就任。
1999年理事就任。
2009年副会長就任。
2009年2011ジャパンペットフェア実行委員長就任。
2011年7月15日会長に就任。

【現職】

株式会社ケーピーエス代表取締役会長。
一般社団法人日本ペット用品工業会会長。

画です。この事は、業界が大きな信頼を得、社会的地位の向上につながるものと考えます。

今年6月にスタートしたペット用品取扱士制度の推進、経済産業省協力のペット用品産業統計実態調査の実施等々、新役員体制のもと、継続事業、新規事業を含めて業界発展のための事業に積極的に取り組んでいきたいと思っておりますので会員及び業界各位におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

目次

JPPMA 総会報告…2頁～3頁

役員紹介…3頁～5頁

JPPMA トピックス…5頁～8頁

2012ジャパンペットフェア出展案内配布…5頁

ペット用品統一表示第2期策定事業完了…5頁

ペット用品統一表示Ver.Ⅱ統一表示編完成…6頁

第1回ペット用品取扱士検定試験、6月実施…7頁

第9回ペット用品の産業実態統計調査まとめ…7頁

23年度として入会案内リニューアル…7頁

「ペットとの共生推進協議会」告知活動開始…7頁

第2回理事会開催…7頁

第3回運営会議開催…8頁

会議日程…8頁

JPPMA 組織概要…8頁

<http://www.jppma.or.jp>



一般社団法人
日本ペット用品工業会会報

第3号 秋号

一般社団法人日本ペット用品工業会総会報告 新役員選出、今期事業計画推進へ

7月15日東京国際フォーラムにおいて開催された一般社団法人日本ペット用品工業会（＝JPPMA）の第2期定時社員総会では、事業報告、決算報告、事業計画案、予算案の審議と、任期満了により新役員の選出が行われた。選出された新役員は第3期～第4期（平成23年6月1日～平成25年5月31日）を務める理事、監事の総勢15名。任期中、JPPMAの前身に立って運営、発展推進に取り組む。



この総会では、会を代表して林会長（開催時）が挨拶。任期中を総括してJPPMAの方向性を示した。

「飼育ペット数の減少傾向に歯止めをかけるため、昨年当工業会が呼びかけて『ペットとの共生推進協議会』というペットの普及推進組織を立ち上げました。ペット飼育意義を広く告知して、『ペットを増やす』という普及啓蒙がペット業界にとって最重要課題であるからで、業界挙げて取り組んでいきます。また、ペット用品の開発・供給にあたっては『安心・安全』『高品質』を目指し、統一表示基準の策定を推進してきましたが、今後はさらに品質基準を加えて策定作業が進んでいくものと考えます。6月からスタートとしたペット用品取扱士制度は、正しいペット用品の使い方の啓蒙と業界内の人材育成をテーマにしておりますが、業界内外に広く浸透することを期待しています。」（要旨）

来賓として招かれた、担当官庁である経済産業省商務情報政策局日用品室・江川邦雄室長の挨拶は、JPPMAに対する大きな期待を込めた内容であった。

「市場はやや持ち直しつつあると聞いていますが、先行き不透明で不安感があります。しかしながらペット業界の持つ『癒し』『安心』『安全』は人々の心にキーワードとして生き続け、ペット業界は長期的には必ずや良い方向に向かうと確信しております。経済産業省としても引き続きペット業界及び貴工業会の健全な発展を支援していきます。ペット業界の皆様が振興し社会貢献の道を歩まれることを祈念しております。」（要旨）

今年度（第3期＝平成23年6月1日～平成24年5月31日）事業計画は、「より良いものを」「より快適に」「より安全に」を基本テーマとして、社会貢献を果たすべく、以下の各種の公益および共益活動に取り組む事も決まった。

①ジャパンペットフェアの準備と実施

- ・3月29日から4月1日、幕張メッセにおいて、2011延期分を2012ジャパンペットフェアとして開催。

- ・目標550小間、震災復興のためのイベントを加えてペットの普及啓蒙を目的とした内容で開催。

- ・2013ジャパンペットフェアも視野に入れて実行委員会を運営。2012と並行して準備を進める。

②ペット用品統一表示基準と品質基準の策定準備。

- ・ペット用品統一ガイドライン第2期策定事業の周知徹底と第3期策定準備。

- ・ペット用品統一ガイドライン説明会、勉強会開催。

- ・第2期策定統一表示適合品証マークの周知。

- ・犬猫用「ウエア」「ベット」「キャリーバッグ」「食器」「おもちゃ」「犬具、猫具」の品質基準策定準備。

- ・観賞魚用ヒーターの性能基準についての継続検討。

③ペット用品取扱士検定3級試験の実施、1～2級試験の準備。

- ・ペット用品取扱士3級講義・試験の実施。

- ・同2級、1級教本の準備。

- ・ペット用品取扱士3級講習・試験の準備、実施、告知、プレゼンテーション他。

④ ペットとの共生推進協議会活動への協力。

- ・「みんなで進めようペットとの共生」をスローガンにペットの普及啓蒙活動理展開。

〔事業活動〕

- ・いかにペットが人間にとって大切かを啓蒙。

- ・人の高齢化での飼育問題とその有効な手段の検討。

- ・生体の健全な安定供給体制への協力・支援。

- ・集团的告知方法の検討と実施。

- ・行政機関との協力関係の確立。

- ・被災ペットの救助活動支援ほか。

⑤JP-NEXTでの経営研究と次世代育成事業の実施。

- ・ペット業界の人材育成を目的とした講演会を開催する。

- ・会員会社の学びと交流の機会を作る。

⑥ペット産業統計調査他。

- ・平成21年度・平成22年度分を集計。

- ・経済産業省日用品室への結果報告。

- ・上記統計データを日本ペット用品工業会ホームページにて公表。

⑦その他。

- ・リニューアル後のホームページ運用、情報の発信。

- ・各委員会活動の情報発信。

- ・ペット用品取扱士検定試験開催案内。

- ・ペット用品表示ガイドラインの情報告知。

- ・ペットの効用について啓蒙告知。

- ・2012JPF開催の案内等。

- ・官公庁及び関連団体との情報交換。

- ・会報「Brief」発行（第3号、第4号、第5号）。

また、福島県を中心にペット救援活動を行っている一般社団法人東日本ペット緊急救援チーム（代表・小島章義氏）に義援金を寄付することについて詳細が説明され、承認された。

なお任期満了による役員改選において、選出された新役員

は理事13名、監事2名。理事互選により会長を決定、会長任命により副会長、各部会長、委員長が決まった。

(敬称略 理事氏名は理事会出席登録者)

会 長 柳原伸明 (株)ケーピーエス)

筆頭副会長 小川泰男 (株)共立商会/業種部会)

副会長 (50音順 敬称略)

石橋伸孝 (株)ベッツイシバシ/JPF部会)

山本洋介 (株)ボンビアルコン/JP-NEXT部会)

理 事 (50音順 敬称略)

五味直也 (ジェックス(株)/会計)

高野怜 (株)昭和化学/組織強化部会)

茶蘭章二 (テトラジャパン(株))

永塚裕治 (株)キョーリン)

林明雄 (ドギーマンハヤシ(株)/ペットとの共生推進協力部会)

二神軍平 (ユニ・チャーム(株)/統計委員会)

前田圭一郎 (ニッケペットケア(株)/会員増強委員会)

松本博司 (株)マルカン/PR員会)

山田武史 (株)ヤマヒサ/表示委員会)

監事 (50音順 敬称略)

亀井正治 (アース・バイオケミカル(株))

小森 衛 (ライオン商事(株))

総会の席上、新入会員として次の8社が紹介された。

株式会社アドバンクス (再入会) / 株式会社ウイルインターナショナル / 株式会社サノテック / 株式会社ゼフィール / 株式会社ブラッツ / 株式会社マインドアップ / 株式会社ガウラ / 株式会社ベッツ・チョイス・ジャパン。

役員紹介

平成23年度～24年度一般社団法人日本ペット用品工業会役員、挨拶文を紹介。(敬称略)

◀ 会 長 柳原 伸明 ▶

株式会社ケーピーエス代表取締役会長。前副会長。前ジャパンペットフェア実行委員長。過去10回ジャパンペットフェア実行委員会に参画。

「(コメントは本誌1頁の挨拶参照)」



◀ 筆頭副会長 小川 泰男 ▶

株式会社共立商会代表取締役社長。業種部会長、ペット用品取扱士委員長。



副会長の重責に身の引き締まる思いであります。各委員会も手探りから確実に実りある状況になってきました。今後は会員、非会員にかかわらず、ペット業界をリードするJPPMAであるために微力ではありますが努力してまいります。

今年6月東京と大阪にて行われました「ペット用品取り扱い士」3級資格認定試験では、177名が合格しました。今季は会員会社社員へのより広い認知と3級取得を目指しますと共に本来の目的でもありますペット用品販売現場で働く方々への認知を目指します。2～3回の3級試験を公開の形で実施し、これから

ペット業界に羽ばたくペット関連専門学校の生徒さんを対象に学内にて行う試験も広く行う予定でいます。

また、2級試験実施の準備にも取り掛かります。正しい表示と正しい商品知識に裏付けられた販売により、ペット用品の誤使用による事故を防止しよりのしいペットライフをサポートできるように「ペット用品取扱士」の認知向上、普及に努めます。

◀ 副会長 石橋 伸孝 ▶

株式会社ベッツイシバシ代表取締役社長。ジャパンペットフェア実行委員長。



10年ほど前からジャパンペットフェアの小鳥・小動物部門のイベントのお手伝いをきっかけにJPPMAで活動をさせていただきました。JPPMAの繁栄こそ自社の繁栄につながると確信しています。小鳥・小動物・昆虫・爬虫類業界の会員の代表として、ペット業界の発展のため精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

ペット業界で唯一の犬・猫・観賞魚・小鳥・小動物・爬虫類・昆虫等の様々な用品を取り扱っているメーカーの団体として、「見つけようペットと暮らす喜びを」テーマに第13回目を迎えるはずでした「2011 ジャパンペットフェア」は、東日本大震災の影響で、1年間開催延期となりました。ペット飼育の効用や動機付け、あるいはペット飼育を後押しできる環境づくりなどをビジュアル化・イベント化して、場所は当初予定しておりました「幕張メッセ展示ホール」にて、2012年3月29日～4月1日の4日間、開催を予定しております。犬・猫・観賞魚・小鳥・小動物・爬虫類・昆虫部門から選ばれました、2011 ジャパンペットフェアの実行委員全員が引き続き担当させていただきます。今まで以上にクオリティを上げ、被災地及び被災ペットへの配慮をもったフェアに致します。2012年に開催されますジャパンペットフェアに会員各社様の多大なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◀ 副会長 山本 洋介 ▶

株式会社ボンビアルコン代表取締役。JP-NEXT 部会 部会長



このたびの選挙にて当会の理事ならびに副会長職を拝命いたしました。業界の発展のため、また会員各社の利益になるように精一杯のお手伝いさせていただきます。どうぞご協力の程よろしくお願いいたします。

理事 (氏名 50 音順)

◀ 理 事 五味 直也 ▶

ジェックス株式会社専務取締役。会計理事。



今ペット業界はまさに過渡期を迎えているように思います。この環境変化に、より多くの皆様にペット飼育による「癒し・やすらぎ」の効用をご提供させていただけるよう、「安心・安全」

な飼育用品を供給してまいります。

すべての世帯に「ペットとの共生」を提供できる業界団体になるべく、日本ペット用品工業会の理事として微力ながら努力精進してまいる所存ですので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

◀理事 高野 怜▶

株式会社昭和化学代表取締役会長。組織強化部長、新規事業検討委員長、流通委員長。旧日本ペット用品工業会 22 期の会長職歴任。第 6 回'97 ジャパンペットフェア実行委員長。



JPPMA は法人化、二期目。創立 26 年になります。業界の変遷と共に役員の若返りが出来、新たな方面への向うこと期待したいと思います。残された課題を乗り越え 100 社になろう会員の声を聞き、又、会員会社の積極的に参加するよう働き掛けを徹底し、ペット産業のトータルな力を集め、その価値を訴える場を広げ底上げをし JPF を“日本のペットの祭典”にすることを願います。

◀理事 茶園 章二▶

テトラジャパン株式会社代表取締役。ペット用品取扱士委員会副委員長。

テトラが創設され今年で 60 年を迎えました。テトラジャパンは、長年に亘る観賞魚製品からコンパニオン・アニマル製品分野まで事業を拡大しております。この度、ペット関連産業の発展に大きな影響力を持つ日本ペット用品工業会の理事を拝命しました。その重責を果たすべく努力する所存ですので宜しくお願いいたします。



◀理事 永塚 裕治▶

株式会社キョーリン課長。表示副委員長。

この度弊社社長・神畑の代理で日本ペット用品工業会理事という大役をおおせつかり緊張しております。知識や経験が伴っていないのでどこまで出来るか分かりませんが、業界の為になるなら微力ですが務めさせていただきたいと思っています。今の業界を取り巻く環境は非常に厳しい時だけに会員各社の相互協力が大切だと考えます。



◀理事 林 明雄▶

ドグーマンハヤシ株式会社代表取締役会長。ペットとの共生推進協議会協力部会委員長。旧日本ペット用品工業会・9～10 期、19～20 期、23～24 期会長職。一般社団法人化・第 1 期～第 2 期の会長職を歴任。第 1 回'87 ジャパンペットフェア実行委員長。



日本ペット用品工業会も一般社団法人組織になり、2 年経過致しました。直前会長として、公的・公益的事業として路線も敷く事が出来、又基礎も土台も計けることができました。今期より若返りの組織が誕生し、スタート致しました。会員が団結して、信頼される業界団体として、発展を後押し協力して参りたいと思っております。

業界景気が気になる昨今ではありますが、この時期こそ、生体の飼育頭数を産業界結集して、取組まなければならないと思います。

念願でありました昨年 11 月 18 日に、11 業界団体が共通認識のもと、ペットとの共生推進協議会が発足致しました。ペット達が日本の国民生活にどれだけ必要不可欠か、今迄に知らせていない事実が沢山あります。医療効果、生活向上効果、教育効果等ペットが私達に援助してくれています。これらの素晴らしい情報を広く、日本の皆様に啓蒙、告知、PR の発信をし、行政やマスコミと協同して、ペットとの共生を推進して参りたいと考えています。ペット飼育者が増加することによりペット数も増え、産業界にも景気が生じて参ると思います。当工業会は、ペットとの共生推進協議会初代会長団体として、リード役を務めて行きたいと考えます。

口で言う程楽なものではありませんが、皆様の理解と協力をいただきたいと思います。

◀理事 二神 軍平▶

ユニ・チャーム株式会社取締役 副社長執行役員、ユニ・チャームペットケアカンパニープレジデント。統計委員長。



ペットケア事業をユニ・チャームの中核事業と位置付け、ユニ・チャームグループのシナジーを発揮し、ペットケア事業を育成する所存です。

新たなニーズに応える製品を提供することでペットが元気で長生きできる環境づくりに貢献するとともに日本ペット用品工業会加盟社として、「付加価値市場の創造」により、「業界総資産拡大」に貢献してまいります。

◀理事 前田 圭一郎▶

ニッケペットケア株式会社代表取締役。会員増強委員長。



当社社長に就任し 1 年余、未だ当業界での経験、知識は充分ではありませんが、日本ペット用品工業会の発展に向けて努力精進する所存です。会員皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ペットと飼育者に安心と安全を提供しつつ、ペットとの共生社会の実現を目指し活動してまいります。

◀理事 松本 博司▶

株式会社マルカン代表取締役会長、PR
委員長。

当会は一般社団法人となり今年で3期目を迎えました。当会の活動は皆様の多大なご支援ご協力のもとに成り立っております、深く感謝申し上げます。今期は当会主催のジャパンペットフェアの開催も控えております。

ペット業界の更なる発展のためにも、より多くの方にペットと共生する幸せを知っていただけるよう努力をつくす所存でございます。

今後も皆様の衆知を集め、ペット業界の支え手として社会に貢献してまいります。

◀理事 山田 武史▶

株式会社ヤマヒサ 常務取締役ペット
ケア事業部長 表示委員長。

ここ近年ペットは大切な家族の一員であり、かけがえのない存在となっています。ペットとの共生生活において、人もペットも豊かで快適な暮らしを提案し続けるためには、皆様方のご協力のもと、安心と快適につながる品質基準の策定と、統一表示を進め、業界全体のさらなる発展のために努力してまいります。

◀ 監 事 亀井 正治 ▶

アース・バイオケミカル株式会社代表取締役社長。監事。

日本ペット用品工業会は一般社団法人
となつて社会的責任が益々大きくなつて
きていると感じます。本会の会員各社様
が元気な会社となることが、業界発展にも本会の隆盛にも繋
がり、ひいてはその責任を果たすことになると思います。

本会の監事として無事1期努めさせていただきましたが、新しい会長さんの下で、本会が益々発展できるように、もう1期監事役を努めさせていただきます。会員各社におかれましては、宜しくご協力の程お願いいたします。

◀監事 小森 衛▶

ライオン商事株式会社代表取締役社長。監事。

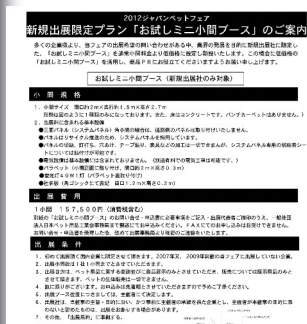
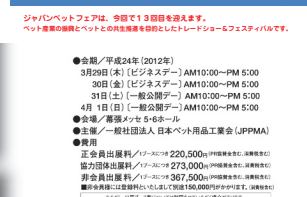
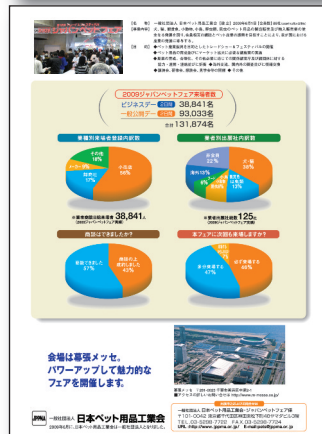
ペットマーケットが停滞気味な中、人とペットとのより良い共生を目指して、ペット用品工業会の今後果たして行かなければ為らない役割は大きいと思います。各種製品に於ける標準化、規格化そしてマーケット伸張の為の業界投資等々多くの課題を解消して行く事を皆様と共に考え、行動して行きたいと考えて居ります。宜しくお願い申し上げます。



2012JPF 出展案内配布
(追加募集)

「見つけようペットと暮らす喜びを」をテーマに準備を進めている2012ジャパンペットフェアの出展案内がこの程完成。関係業者に配付を開始した。

このジャパンペットフェアは、東日本大震災により延期して2012年3月29日～4月1日幕張メッセにて実施するもので、これに伴い追加募集のために新たに出展案内を制作した。



石橋実行委員長「ペット飼育の効用や動機付け、あるいはペット飼育を後押しできる環境づくりなどをビジュアル化・イベント化して、これまで以上にインパクトのあるジャパンペットフェアにすべく準備を進めています。業界各位のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。」

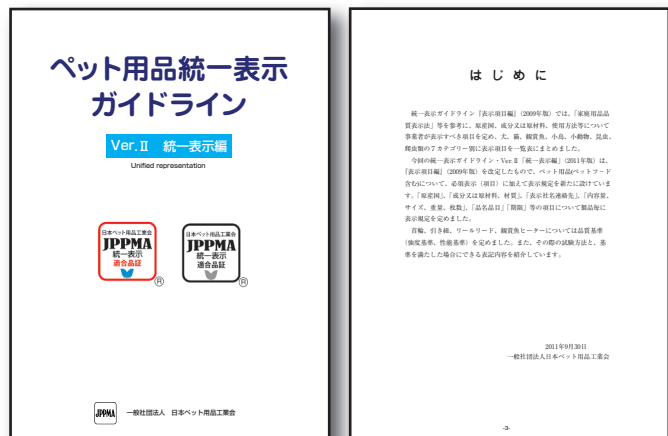
ペット用品統一表示第2期策定作業終了
ガイドラインVer.Ⅱ 統一表示編完成

表示委員会では、第1期の「表示項目編」から一歩踏み込んだ表示内容を決める第2期策定作業が9月に終了。ペット用品統一ガイドラインVer.Ⅱ統一表示編を制作した。犬猫小委員会、観賞魚・爬虫類小委員会ならびに小鳥・小動物の小委員会にて、「表示内容」の取り決めが可能な対象品目を選択する作業を行い、対象品目の追加をし、首輪、胴輪、リールリードでは強度基準、観賞魚用ヒーターでは性能基準を取

り決めた。

なお、ペット用品統一表示ガイドライン第2期策定作業では、以下の事柄がまとめられた。

①表示委員会全体会議を開催し、表示事項のさらに踏み込んだガイドライン策定に向けて、表示項目の検討を行い、「原産国」「成分又は原材料又は材質」「表示者名連絡先」「内容量サイズ」「品名品目」「期限」の6項目とすることで確認した。



②犬猫小委員会、観賞魚爬虫類小委員会、小鳥・小動物・昆虫小委員会で上記6項目についてのガイドライン策定作業を実施。

③表示委員会小委員長会議を実施し、ガイドラインの読み合わせを実施し、基準の最終確認を実施

④原産国表示のルールについて確認…消費者庁表示対策課。

⑤統一表示ガイドラインの啓蒙活動の一環として、啓蒙ポスター3000部を作製、配布中。

また、品質基準策定に向けた準備として、大手量販店の品質基準策定の動きに対応して、品質対策小委員会を設置した。



ペット用品取扱士(略称P.G.M)検定試験 24年度はJPF会場等で実施

ペット用品取扱士第1回目資格検定試験を6月に実施。「東京と大阪で、177名の合格者を輩出致しました。」(小川委員長)

この資格検定試験は、製品開発、流通ならびに販売現場における技術・知識の向上と業界人としての地位の向上と、ベ

ット用品の誤使用予防、適正的確なペットオーナーへの指導やサポートを行うことを目的としている。業界内外においてペット用品やペットフードの正しい知識・使い方を啓蒙するため着手したもの。

また、販売現場での指導の意味からペット用品の知識を修得する事はユーザーにとって好ましく、煩雑なインターネット等による情報等によって、ユーザーが間違った知識を信じているケースも少ない。したがってメーカー側から一般ユーザーに対して正しい情報を発信する上からも意義ある制度である。

また、検定試験対象者は以下の通り。

- ①メーカー：マーケティング・商品管理・企画開発・営業担当者他
- ②流通：仕入・商品管理・企画・営業担当者他
- ③小売店：マネージャー・バイヤー・売場担当者
- ④専門学校：生徒
- ⑤その他一般

なお、ペット用品取扱士の英名をPet Goods Master 略称P.G.M)とし、ロゴマークを作成した。ペット用品取扱士第3級資格検定試験の合格者には認定証と認定カードが授与される。



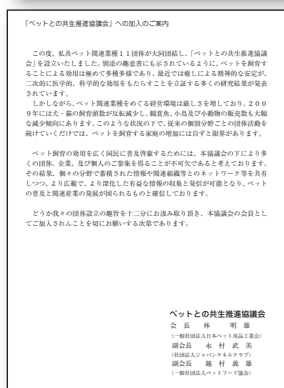
第9回ペット用品の産業実態統計調査報告

統計委員会(二神委員長)は平成22年度として実施したペット用品産業実態調査についての途中経過が木村委員長代理から運営会議で報告された。

同調査は、今回初めて経済産業省の協力を得て、より確かな統計データづくりを目指したもので、会員だけでなくアウトサイダーもアンケート対象者として実施した。同調査結果は年内に理事会、運営会議で最終報告を行い、会員各位に配信される予定。

ペットとの共生推進協議会活動報告 イベント会場で告知活動を展開

ペットの普及啓蒙を図ることを目的にペット関連団体、企業、一般で組織するペットとの共生推進協議会は事業の第一歩として、会の告知及び会員増強のための告知活動をこの夏から行っている、とペットとの共生推進協議会協力部会(林



部会長）から報告があった。

、ポスター（A0版2枚、A2版6枚）及び案内パンフレット（A5版8ページ5000枚）を制作して、各イベント会場で関係者に配布。今後も告知と会員勧誘活動を全業界に対象を広げて展開していくというもの。

現在会員団体は以下の通り（50音順）

協同組合ペットサービスグループ

社団法人ジャパンケネルクラブ（副会長）

一般社団法人全国ペット協会

一般社団法人 全国ペットフード・用品卸商協会

中央ケネル事業協同組合連合会

日本小鳥・小動物協会

社団法人東京都家庭動物愛護協会

一般社団法人日本動物専門学校協会

一般社団法人日本ペット用品工業会（会長）

一般社団法人 ペットフード協会（副会長）

なお、一般社団法人日本ペット用品工業会では同事業をペットとの共生推進協議会協力部会が担当していることから、ペットとの共生推進協議会会長は林部会長が務める。

入会案内23年度版リニューアル



増強委員会委員長（前田委員長）は、入会案内をリニューアルして平成23年度版を制作した。10月、未入会のジャパンペットフェア出展社に



配付、入会の呼び掛けを開始した。

一般社団法人東日本ペット緊急救援チームに被災ペット義援金寄贈

JPPMA及び会員から、被災地のペット救済のために集めた寄付金と、ラブリーペット商事展示会会場での募金（1,161,562円 寄贈先をJPPMAが一任され



ていた）を合わせて500万円を、一般社団法人東日本ペット緊急救援チーム（代表・小島章義氏）に贈呈した。

同寄付金の寄贈は、7月15日の定時総会において承認されたもので、同救援チームの法人化が完了した9月6日、同事務局にて贈呈式を行った。

小島代表の話

「被災地のペットの救済、保護・管理活動について、今年6月に林前会長に支援をご依頼して快諾いただいたこと。また、この程JPPMAの皆さまから多大なご寄付金を賜り感謝申し上げます。寄付金の使途は保護施設（シェルター）の設置、管理を中心になると思いますが、業界の一員として被災ペットの為に有意義に使わせて頂きます。ありがとうございました。」

第2回理事会 理事担当業務等を決定

8月22日、新役員体制がスタートして初めての理事会（第3期2回理事会）が事務局会議室で開催された。理事担当業務決定した。（敬称略）

- ・組織強化部会部会長（株）昭和化学（高野怜理事）
- ・会員増強委員会委員長 ニッケペットケア（株）（前田圭一郎理事、委員長代理：松下義信）
- ・PR委員会委員長（株）マルカン（松本博司理事、委員長代理：川曾努）
- ・JPF部会部会長（株）ベッツイシバシ（石橋伸孝副会長）
- ・業種部会部会長（株）共立商会（小川泰男副会長）
- ・統計委員会委員長 ユニ・チャーム（株）（二神軍平理事、委員長代理：木村裕司）
- ・表示委員会委員長（株）ヤマヒサペットケア事業部（山田武史理事、委員長代理：石川秀樹）、副委員長（株）キョーリン（永塚裕治理事）
- ・ペット用品取扱士委員会委員長（株）共立商会（小川泰男副会長）、副委員長 テトラジャパン（株）（茶蘭章二理事、代理：吉村浩一）
- ・JP-NEXT部会部会長（株）ボンビアルコン（山本洋介副会長）
- ・ペットとの共生推進協議会協力部会部会長 ドギーマンハヤシ（株）（林明雄理事）

・会計担当理事 ジェックス（株）（五味直也理事）

この他主な決定事項は以下の通り（概要）

①運営細則第4章必要経費規程一部修正された。

旅費規程、宿泊費及び食事代規程の一部で、理事会社の負担軽減と会の経費削減を目的としたもの。

・会議などJPPMA活動で東京に移動する場合、埼玉県と千葉県からの来訪者には交通費を1日1,000円を支払っているが、これに東京都と神奈川県を加える。

・JPPMAの事業活動のためにかかった交通費は、本人の申請により、実費を支払う。

・会議が連日となる場合には一泊につき7,000円支払う。

②電気安全規格のJ I S 開発委員が選任された。

経済産業省から委託を受けた財団法人日本規格協会からの依頼で「強制法規に引用される電気安全規格のJ I S 開発」のワーキンググループにJPPMAから委員を1名派遣するもの。「水槽用照明器具に関する安全性要求事項」であるため、ジェックス株式会社から適任者を選任することとなった。

③さいたま市の動物取扱責任者研修会への講師を派遣。

さいたま市保健福祉局保健部動物愛護ふれあいセンターの依頼で、「動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱責任者研修会」にJPPMAから講師を派遣することになった。

第3回運営会議

9月26日、新役員体制がスタートして2回目の運営会議（第3期3回運営会議）が事務局会議室で開催された。同会議は部会及び委員会からの活動報告と実務面での検討を行うもの。

①ジャパンペットフェア部会…実行委員会案として理事会に上程する「2013JPFの大阪開催」について説明、意見を聞いた。大阪開催を理事会に諮る。

②統計委員会…平成21年度と平成22年度の統計調査がまとまり、次の理事会で最終報告される。

③表示委員会…9月27日、経済産業省日用品室に行き第2ステージ完了報告をした。表示委員会全体会議を10月25日、大阪で開催。「品質基準を作るための第3ステージの進め方について」等を検討する。

④その他

JPPMA 会議日程（10月～1月）

10/18 3団体合同正副長会議
10/20 理事会
10/20 運営会議
10/25 表示委員会全体会議
10/28 ペット用品取扱士委員会
11/21 運営会議
11/22 ペットとの共生推進協議会理事会
11/25 ジャパンペットフェア実行委員会
12/19 理事会
12/19 運営会議
1/10 賀詞交換会（東京 ヒルトンホテル）
1/11 賀詞交換会（大阪 ホテルグランピア）

1/12 賀詞交換会（北海道）

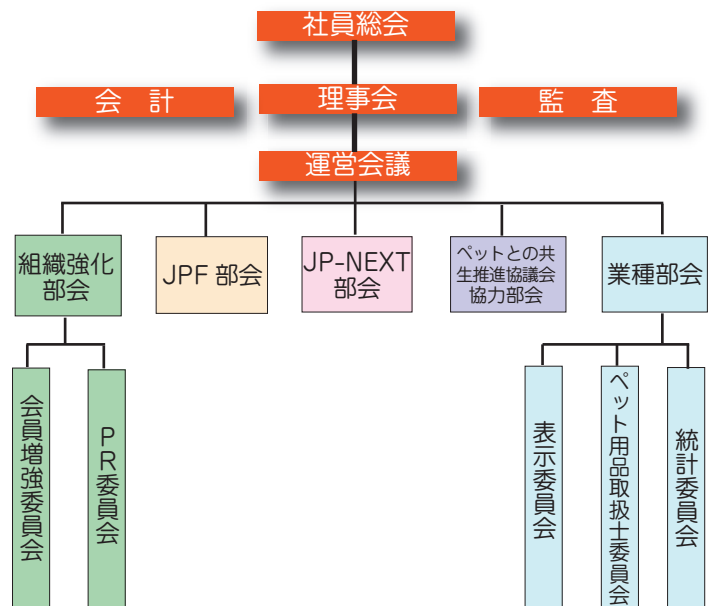
1/13 賀詞交換会（九州）

1/20 ジャパンペットフェア実行委員会

JPPMA 部会・委員会活動

会計 部会 委員会	活 動 内 容
会 計	経理処理の法的適正処理の推進。《財務管理・予算の適正執行の促進》
組織強化部会	公益事業及び業界振興事業の実施に向けて、組織強化を図る。
PR委員会(HPの充実)	①JPPMAの活動内容の明示。(表示項目・JPF・JP-NEXT他)
新規事業検討委員会	②飼育者向けペット用品の正しい使用方法の啓蒙。ペット飼育の効能等飼育者増進へのPR。
流通委員会	新規事業の検討。
会員増強委員会	①返品問題等の実態把握。
	②卸商、小売商団体との課題解決への調整。
	③入会案内の作成等会員増強のための各種活動。
	④素材・材料・設備メーカー等の賛助会員の募集。
業種部会	生活者の安全・安心志向に沿って、信頼される製品供給並びに販売について各種制度を構築する。
表示委員会	①統一表示ガイドラインの会員会社及び業界への啓蒙促進。
	②優先順位を決めて表示内容の検討。
	③統一表示ガイドライン策定事業の実施。
犬猫小委員会	優先順位を決めて表示内容の検討。(犬員の強度及び表示方法等を含む)
観賞魚・爬虫類小委員会	優先順位を決めて表示内容の検討。(誤使用防止啓蒙等を含む)
小鳥・小動物爬虫小委員会	優先順位を決めて表示内容の検討。
統計委員会	①ペット用品産業市場規模の調査。
	②市場規模の公式発表の実現を目指す。
ペット用品取扱士委員会	①正しいペット用品取扱の啓蒙。
	②7素種の用品の取扱い者の育成。
JP-NEXT部会	①業界の垣根を外した若い人の育成。
	②今年度の方向及び今後の運営についての検討。
ジャパンペットフェア部会	次回の展示会の企画・運営。
ペットとの共生推進協議会協力部会	①いかにペットが人間にとって大切かを啓蒙。
	②人の高齢化での飼育問題とその有効な手段の検討。
	③生体の健全な安定供給体制への協力・支援。

JPPMA 組織図



発行物 一般社団法人 日本ペット用品工業会会報
JPPMA Breifs 第3号
発行日 平成23年10月30日
発行人 一般社団法人 日本ペット用品工業会
〒101-0042 東京都千代田区神田東松山下町48
電話 03-5298-7722 FAX03-5298-7724
編集人 組織強化部会広報誌制作委員会
委員長 高野 怜
委員 滋野 実(アドバイザー)
事務局 松本純一
高橋良子